

# 自然観察 NOW

野幌森林公園自然情報

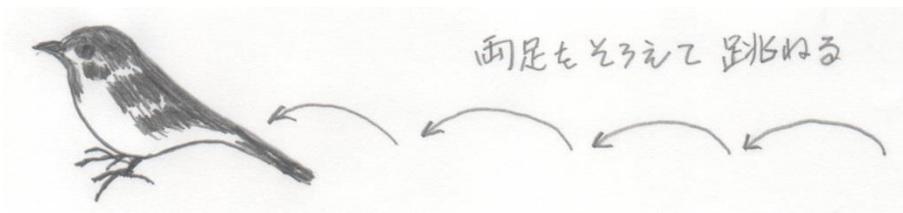
平成26年度 NO6

平成26年10月16日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

## スズメのはなし

人家付近で見られ、ほおに黒い斑点（幼鳥はうすい）、歩くときは両足をそろえて跳ねる。チュン、ジジなど様々な声を出す。（ヨーロッパで人家付近にいるのはイエスズメでスズメは郊外にいる）留鳥と言われるが、その年に生まれた鳥は秋に移動します。スズメは身近にいる鳥ですが、とても用心深く人が近づくとすぐに逃げます。スズメはどんな鳥なのでしょう。



繁殖期は2月から9月、特に3月から8月はたくさんのスズメが巣を作り、卵を産んでいます。一回目は4月中旬がほとんどですが2回目の産卵は5月～8月と一定していません。巣作りは人家の近くで軒先、かわらの隙間、排気口、信号機など。コンクリートの建物が増えいろいろな所の隙間を見つけて巣を作っています。ツバメの巣、ワシやタカの巣の一部などにも巣を作ります。巣材は枯れ草、枯れ枝、わら、布くずなど手に入りやすいものはどんどん使います。産座には柔らかい動物の毛や鳥の羽、シュロの毛なども使います。卵は灰色に茶の斑点があり、長いほうが19mm、短い方は平均14.5mm位の楕円形です。

### 子育て（産卵）

毎朝一個ずつ4～8個の卵を産み、最後に産む卵を止め卵と言います。それまでの卵より白かったり、斑点が大きかったり、まだら模様だったりします。止め卵を産み終わると温め始めます。カラスなどに卵をとられて数が減ると前と同じ数になるよう産み足します。

### 子育て（抱卵）

オスとメスは協力して子育てを行いますが、夜の抱卵はメスだけが行います。昼間もメスはオスの3倍ほど抱卵し卵を温めます。オスは縄張りを守るためメスより少ないと考えられています。12日ほどで一斉に孵化しヒナになる。抱卵期になるとメスの腹の羽毛が無くなり、この時は雌雄の見分けが付きません。腹に羽毛がないので直接体温（40°）が伝わりよく温めることができます。一週間で目が開き、2、3日後には羽も生えて来ます。食物を運ぶ回数は孵ってすぐのころは1日90回位、10日後は400回近く食物をくわえて巣に出入りします。運んでくるものはガやハチなどの昆虫とその幼虫です。巣の周りの虫をずいぶん減らしてくれます。ヒナのフンは巣から離れたところに捨てに行きます。巣をきれいにしておくためと白いフンは敵に見つかってしまうかもしれないので。

### 巣立ち

2週間位でほぼ親鳥と同じ20～24gになり、いっせいに飛び立ちます。近くの藪などに身をひそめますが巣にもどることはありません。巣立ってもしばらくは親と行動を共にして食物の取り方を覚えます。一週間から10日で独立していきます。この時期がスズメの一生で一番危険でネコ、カラスなどの外敵に襲われて多くが命を落とします。スズメの夫婦はもう一度産卵をし、一年に2度ヒナをそだてるのが普通です。

### 水浴び、砂浴び、雪浴び

水浴びは体をきれいにするため、砂浴びも体をきれいにするためとダニを取るためです。多くの鳥はど

ちらかしかしません。両方する鳥はスズメくらいで、スズメの仲間たちが乾燥した砂漠で生活できる鳥だからといわれています。北国では雪浴びもします。スズメは人間と一緒に生活しながら分布を広げていきました。

### 留鳥と漂鳥

8月から9月頃になると何百というスズメの群れを見ることがあります。これはこの年に産まれた若鳥で群になって行動します。親鳥たちは人家の近くに縄張りを持っていて、縄張りのない若鳥たちが群れを作っています。11月頃になると姿を消してしまうのを昔の人たちも不思議に思っていたいますが、実際は暖かい地方に移動していました。この時期も寒さ、雨などで体力を奪われ命を落とすことが多いようです。

### スズメの行動範囲

スズメの成鳥は季節によって多少の変化はあるようですが調べて見ると以外に狭く半径110メートルという結果もあります。このなかで餌を食べ、子育て、ねぐらなど生活のすべてをまかなっているようです。

### 日本人はスズメ好き？

大切なコメを食べるのに大昔から親しまれてきました。

#### \*スズメことわざ

雀百まで踊りわすれず。雀の涙。着たきり雀。雀のぬかよろこび。雀おどして鶴を失う。朝雀夕鳥。あらそう雀人をおそれず。雀鷹を生む。欣喜雀躍など。

#### \*スズメは日本で一番古い歴史書「古事記」に登場しています。

また枕草子、源氏物語にもとりあげられています。宇治拾遺物語には「腰折れすずめ」の話、昔話には「キツツキとスズメ」、「舌切り雀」、「鳥呑み爺」などいくつもあります。

#### \*スズメ家紋 雀の丸。丸に飛び雀。三つあつめ雀。ふくら雀。仙台笹。九枚笹にむかい雀など。

### スズメの名前がついた植物

スズメは小さいことを、カラスは大きいことを表わし、よく対比に使われます。

スズメノテッポウ、スズメノエンドウ、スズメガヤ、スズメノハカマ、スズメノカタビラ、スズメノヤリ、スズメノヒエ、スズメウリなど。

### 野幌森林公園情報

秋真っ盛り、木々は紅葉し、実をつけている木や草も多く見られます。秋の森を楽しんで下さい。

#### <木の实>

- ・ナナカマド 赤い実は色彩の乏しい冬の間も美しく大寒のころ小鳥の餌になるまでながく楽しめます。
- ・ミズナラ 今年には豊作のようです。
- ・ハイイヌガヤ 実はずっとつけたものが、今年大きく成熟し赤くなっています。
- ・キタコブシ 握りこぶしのような実がさけてなかの朱色の種子が見えます。

#### <草の实>

- ・マムシグサ 赤い球状で小さな実をたくさんつけています。
  - ・アマチャズル 黒い実をつけ他の植物に巻きついていきます。
- 他にオオウバユリ、ノブキ、ゲンノショウコなど。

### 観察会のご案内

#### \* 晩秋の森観察会（志文別コース）

11月 3日（月）10：00～14：30 自然ふれあい交流館集合（昼食持参）

#### \* 秋のありがとう観察会

11月 9日（日）10：00～12：30 自然ふれあい交流館集合

#### \* 西岡水源池自然観察会

11月 23日（日）10：00～12：30 西岡公園管理事務所前集合